

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 5日

事業所名 こども発達サポート 運動療育のかがやき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	・自由時にはスペースを区切って過ごしております。	・適切ではあるがお友だちを避けることが難しいお子様もいるため時折ぶつかってしまうこともあります。しつぽとりなど自由に走る運動遊びでは走るコースをサーキットで限定したり、人数を考慮しながら活動させて頂いております。 屋内療育だけでなく屋外療育も取り入れております。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	・職員1人に対してお子様2人までの定員を設定させていただいております。	まずはケガの無いようスタッフ全員が意識をまいります。ケガがあった場合の対応は保護者様へのご連絡は引き続き行っていますが、見落としのケガの無いようスタッフ同士の連携を高めてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・運動プログラムのルールや準備の手順表、声のものさし表など視覚的に分かりやすく示しております。 ・療育室内は、お子様の注意集中のため、玩具は見えない位置への配置を行っております。 ・手すりの設置をなくしていません。手すりを設置しないことによりぶつかる危険性をなくしております。	・トイレの段差は傾斜ステップを使用して対応していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・1日2回の清掃と玩具や物品などのアルコール消毒を徹底して行っております。 ・布をかけたりすることで、目にはいる玩具をなくし、子どもたちが集中して活動できる空間づくりに努めています。	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	・週1回のカンファレンスを実施し目標設定に対して振り返りを行っております。 ・業務週報やtodoリストを作成し業務内容を明確にしています。週単位で業務に対して指導員同士で共有しております。	・以前は個人の業務に対しての振り返りが少ないことがありましたが、現在は朝礼を行い業務の進行状況、アイデアなどを共有しております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・保護者様のご意向になるべく沿えるように、職員間で内容の共有をし対策の話し合い、実践が可能になるように努めております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・事業所の自己評価表について平成29年度よりホームページにて公表しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価はまだできていません。今年、未来創造企業の認定を受けるべく研修に参加しております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・新入社員研修や月1回の会議内で研修を行っております。また外部研修にも積極的に参加し、職員全体へ内容の共有を行っております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・計画期間ごとに面談やアンケートを実施しニーズや課題を客観的に分析した上で、個人支援計画書の作成を行っております。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・標準化されたアセスメントツールを使用しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・独自の個人支援計画書には、利用者様に必要な総合的な支援内容を設定するよう配慮しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・職員は必ず定期的に個人支援計画を確認し、それに基づき支援を行っております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・職員間で積極的な意見交換を行い、新しい活動プログラムの立案を行っております。 ・現在までに立案された、運動プログラムをその日の利用者様に合わせて要素を追加しバージョンアップさせております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・1週間を通して毎日違う職員が、かがやきオリジナルの運動プログラムの中から活動プログラムを決定しております。	・定番の運動プログラムがあり、多く取り入れております。同じメニュー名ですが使用する物品が違ったりと変化をつけながら取り組んでおります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6	0	・個人支援計画では運動療育による運動機能の向上(個別活動)と社会性やコミュニケーション能力の成長(集団活動)の両方の目標を設定し作成しております。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼を日次で実施し、支援内容の確認を中心に職員間への情報共有を行っております。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5		・以前は送迎担当者への共有が出来ていなかったため、現在は終礼後、SNSを活用し職員全員への共有を行っております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	3	・モニタリングメモを記録し、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	・主に担当の職員が記録を行っております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・6か月に1度、個人支援計画書に基づいたモニタリングを複数の職員で作成しております。またそれに基づき保護者様に支援方法、ニーズのアンケートや面談を実施させていただいております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・会議には、児童発達支援管理責任者1名、もしくはプラス指導員1名が参画することが多くなっております。担当者会議では情報共有をさせて頂いております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3	・連携が必要な利用者様に関して関連機関と連携をとって支援を行っております。	・利用者様全員の関連機関と一様に連携をとれているわけではないため、今後連携を強化できるように心掛けていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・送迎時にかがやきでのご様子をお話し、園でのご様子をお聞きし情報共有と相互理解を図っております。また保護者様を通して支援方法の共通を図っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	6		・就学移行支援については保護者様と学校の先生で行われている。モニタリングや個人支援計画書を用いた用紙を作成し、情報提供できる体制を整えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	エルム大阪さんの研修に参加させていただいております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	・昨年1月にはサッカークラブ pazduroさんとのサッカー交流会を実施させていただきました。 ・課外活動時には地域のお子さまと鬼ごっこをして遊ぶなどの交流をさせて頂いております。	・地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことからイベント(障がいのある・ないに関係なく誰でも参加できるみんなの運動会)等を開催し利用者様全員に一様に実施しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	・社会福祉法人大阪市平野区社会福祉協議会で主催されているおもちゃ図書館に毎月1回参加させて頂いております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・お帳面や送迎時に園、ご自宅、かがやきでのご様子をお話しさせて頂いております。またお聞きした話の中の課題に応じて支援の方法を変更してなどして共通理解を持たせて頂いております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	・ペアレント・トレーニングをご希望の方にはエルム大阪さんが開催している講習のご案内資料をお渡しさせて頂いております。	・現在は講習の案内をお配りするご支援のみをさせて頂いております。職員に関してはペアレント・トレーニングについて外部研修、新入社員研修の機会を作っております。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明させて頂いております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・半年に1度個人支援計画を見直し、保護者様にご説明させて頂いた後、同意としてご捺印を頂いております。保護者様からご要望を頂いた場合は、再度作成しご確認をさせて頂いております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・ご利用時のお帳面や支援計画作成時もしくは時期でない場合は面談のお時間をいただき、お話を伺い必要に応じて助言をさせて頂いております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	【大丈夫を伝えたい】という成澤俊輔さんの講演会や就労移行支援事業所きょうばしさんと共同でお子様クッキング体験をしている間に保護者様に二次障がいや将来の就労に関するお話を開催させて頂きました。	開催が不定期な為、今後子ども食堂さんと連携して定期的に保護者様をご相談しやすい環境・コミュニティを創っていくことでより多くの方のお力になりたいと考えております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・保護者様からご相談を頂いた場合、お帳面、電話、面談にて時間を調整させていただき相談に応じております。ご相談は随時受けつけております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・かがやき便りを月一回発行させていただいています。ワークショップ、送迎時間など別途、個別で配布させていただいています。 ・行った行事に関してかがやき便りやブログにて活動の様子を伝えさせていただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	1	・個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また個人情報に関して職員に研修を行い、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応で厳重に取り扱っております。	・利用者様にオンラインアルバムで活動の様子を見て頂けるサービスの中で「写真に違う利用者様の名前がうつっている」とご指摘をいただきました。現在は改善させていただいておりますが今後も厳重なお取り扱いと適切な対応を続けさせていただきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・お子様(保護者様)の状態に応じて、視覚支援の種類をその都度、追加したり、絵で状況を説明するなど言葉以外でのアプローチもしております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	・クッキングでもちつきを行ったとき、近くの老人福祉施設の利用者様にもご参加いただきました。次回さくらもち作りを合同で予定させていただいております。	・以前は地域の皆様に参加していただく機会が少なかったのですが、令和元年11月にみんなの運動会を実施するなど地域の住民の皆様や近隣の小学生の方にもご参加いただける行事を開催いたしました。
非常時	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員に研修を行っております。 ・防災訓練を年1回行っております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	・1年に1回消防署の方にお越しいただき実施しております。	・職員間では訓練の実施をしているが、利用者様がいない状況での訓練の実施がされていない。想定される最悪の状態の中で話し合い(電話係の職員や避難経路)を職員間でさせていただいております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2	・ご契約時やアセスメントシートにて服薬、予防接種、てんかん発作等の状況を把握し、職員間の共有、対応を行わせていただいております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	・全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、おやつやクッキング時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	・指示書の提出をしていただいていないことがございますが、医師の診断を受けて頂いたもとに保護者様から口頭及びアセスメントシートに記入していただき職員間で共有させていただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、指導員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4	・外部への研修に参加した際、虐待に関連する研修を代表者が受け職員に共有させていただいております。	・代表者からの共有だけではなく、実際に職員が研修を受ける機会を作る対応をしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	課外活動時に道路での飛び出しが見られるお子さまのみ児童発達支援計画に記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。